

2026年度事業計画



2026年3月

- ◆ 2026年度は、第2次中期事業計画の3年目です。
- ◆ 好調なインバウンド需要を背景に、中計最終年度の目標旅客数は2025年度に達成見込みであり、想定を上回る旅客数の伸びが期待されます。
- ◆ 1時間当たり発着回数40回から45回への空港機能向上を見据え、さらなる受入環境整備に着手します。
- ◆ 引き続き、旺盛な旅客需要を支える安心・安全な空港運営に務めるとともに、お客さまからも働く人からも愛される空港づくりにより、福岡空港のさらなる発展を目指します。





◆ 安全・保安意識向上策の実施

- 安全・保安意識の成熟に向けた継続的な啓発活動や教育の実施
- 運転技術大会や空港内事業者へのセキュリティ関連の抜き打ち調査等を通じた、企業の枠を超えた相互研鑽と安全意識の更なる向上

◆ 訓練や教育のスパイラルアップ

- 様々な事象を想定した航空機事故訓練や災害対応訓練の実施
- 計画的ジョブローテーション等による、多面的知識を有するイレギュラー対応能力を備えた人材の育成

◆ 空港施設の確実な維持管理

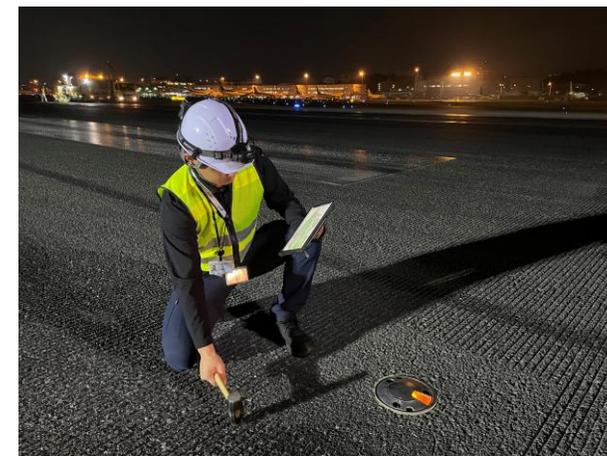
- 滑走路、ターミナル施設等の確実な維持管理による空港機能の安定稼働確保



運転技術大会(スキルアップチャレンジ)の様子



航空機事故訓練の様子



滑走路保守業務の様子



◆ DXの推進

- デジタル技術を活用した空港運営のスマート化や安全・安心の強化等に向けた取組みの推進

◆ 人材の定着を目指した空港勤務者の満足度の向上

- ニーズを踏まえた職場環境改善の実施
- 企業の枠を超えた交流イベント(運動会など)の企画、実施

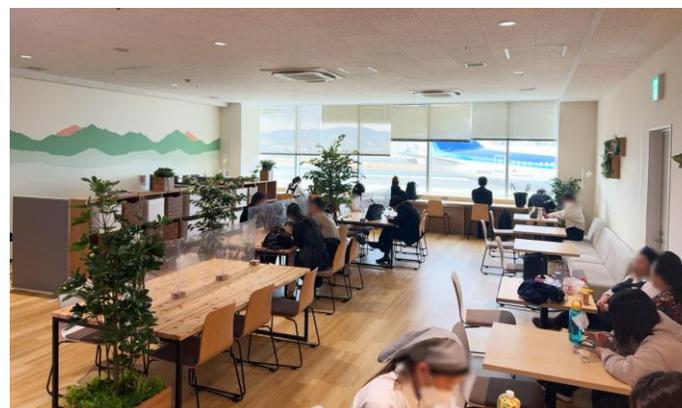
◆ 脱炭素化の推進

- 航空灯火のLED化、ターミナル施設等の照明LED化推進
- CO2削減に向けた太陽光発電の追加設置検討
- 国内産SAFの普及促進に向けた廃油の回収と提供

DXの推進方針



空港内事業者による運動会



国内線従業員休憩室の様子



貨物上屋屋上に設置した太陽光発電

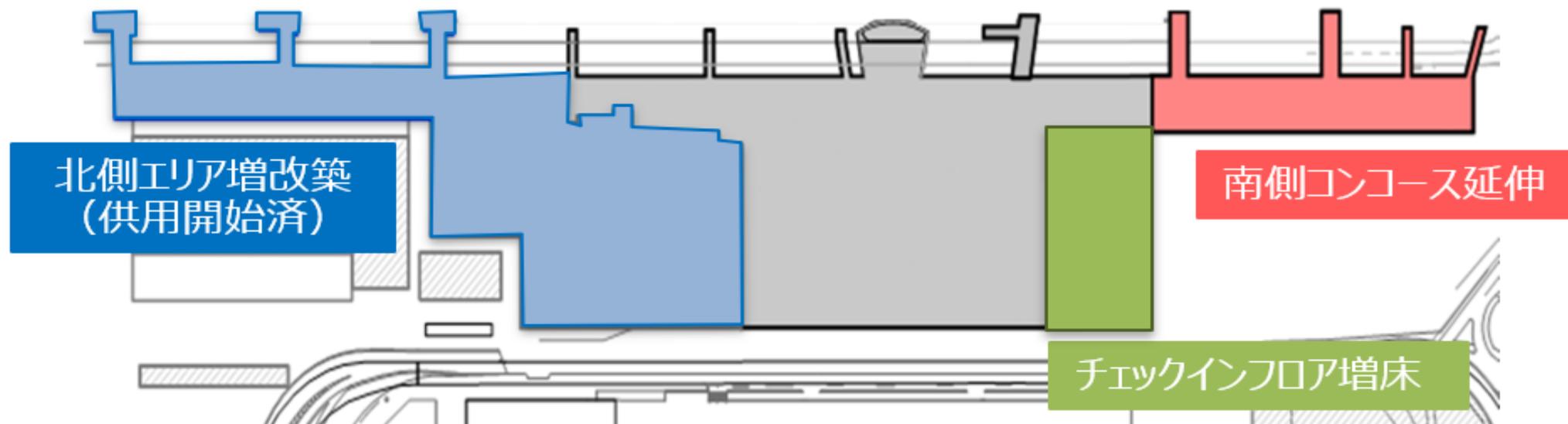


◆ 国際線ターミナルビル南側コンコースの延伸【2027年度竣工予定】

- さらなる増加が見込まれる国際線旅客需要を受け入れるため、国際線南側コンコースの延伸工事に着工
- あわせて、南側コンコース1階にビジネスジェット専用施設を整備

◆ 国際線ターミナルビルチェックインフロアの増床【2027年度竣工予定】

- さらなる増加が見込まれる国際線旅客需要を受け入れるため、3階チェックインフロアの増床およびチェックインカウンターの増設





◆ 戦略的な路線誘致

- さらなるネットワーク拡充に向けた、欧米豪など長距離、未就航路線の積極的な誘致活動
- 自治体や観光推進団体と連携したインバウンド旅客の需要喚起策を実施

◆ アウトバウンド需要の喚起

- 安定的な国際線の就航にむけ、各国政府観光局や旅行会社と連携したアウトバウンド旅客需要喚起策を実施
- 若者のアウトバウンド活性化に向けた海外教育旅行等の促進施策を実施
- 福岡空港から出国するビジネス渡航の増加に向けた取組みの推進

◆ 福岡県の空港の将来構想実現に向けた取組み

- 北九州空港と連携し、両空港の需要喚起、貨物便や旅客便の路線誘致を推進



航空会社への誘致活動の様子



海外ビジネス渡航促進に向けた法人向け商談会の様子



若者のアウトバウンド活性化施策例



◆ 国内線複合施設の整備【2027年度竣工予定】

- 2027年度の複合施設（商業施設、バスターミナルなど）の開業準備を推進
- 複合施設開業に向けた国内線南側立体駐車場の整備推進

◆ フード・商業エリアの魅力向上

- 国内線ターミナルフードコートを3Fに移転リニューアル【2026年4月OPEN予定】
- 免税店および直営店における地場産品取扱いの強化

◆ SKYTRAX World Airport Star Ratingにおける世界最高水準の「5スターエアポート」の獲得・定着



複合施設のイメージ



出所：(株)丹青社

新 国内線フードコートイメージ



◆ 地域に寄り添った地域共生事業

- 予約型乗合交通(オンデマンドタクシー)の社会実験支援
- 環境変化や時代の潮流にあわせた、地域共生事業の推進
- 日常の対話や地域行事への参加などを通じて、地域住民との信頼関係を深化



オンデマンドタクシー(のりタク)



巡回検診の様子

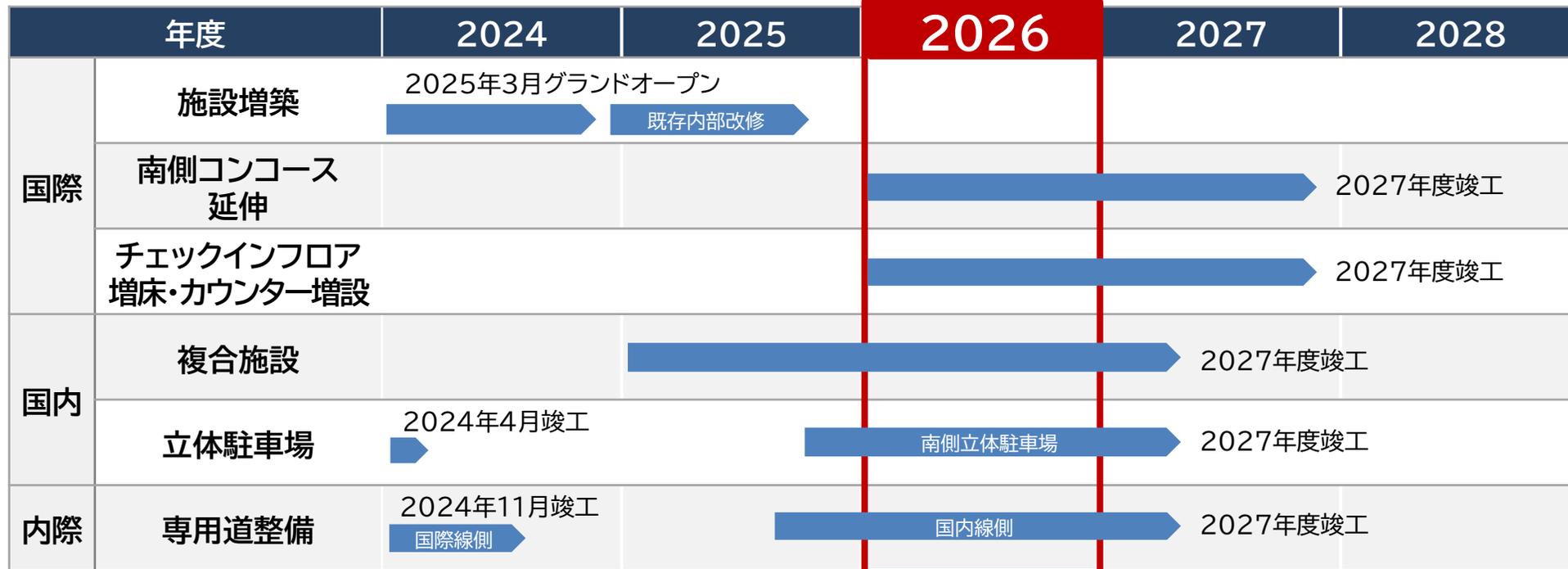


当社が助成した救急車

◆ 空港活性化を目的とする設備投資 約280億円

- 国際線地区:南側コンコース延伸、チェックインフロア増床・カウンター増設
- 国内線地区:複合施設、南側立体駐車場整備
- 内際連絡バス専用道(国内線側)整備

投資総額
約326億円



◆ 空港機能維持を目的とする設備投資 約45億円

- 空港基本施設(滑走路・エプロン・車両など)の維持管理・更新
- 旅客ターミナルビル施設に関する修繕・更新 他

旅客数

	① 2026年度 事業計画	② 中期事業計画 (2026年度計画値)	対比 ①/②
全体	2,924万人	2,680万人	109%
国内線	1,958万人	1,780万人	110%
国際線	965万人	900万人	107%

(参考)

	③ 2025年度 見通し	対比 ①/③
	2,856万人	102%
	1,939万人	101%
	916万人	105%

貨物量

	④ 2026年度 事業計画	⑤ 中期事業計画 (2026年度計画値)	対比 ④/⑤
全体	150千t	195千t	77%
国内線	115千t	157千t	73%
国際線	34千t	38千t	91%

(参考)

	⑥ 2025年度 見通し	対比 ④/⑥
	152千t	99%
	117千t	99%
	35千t	99%

財務指標

	⑦ 2026年度 事業計画	⑧ 中期事業計画 (2026年度計画値)	差異 ⑦-⑧
営業収益	743億円	660億円	+83億円
営業利益	110億円	80億円	+30億円
当期純利益	29億円	3億円	+26億円

(参考)

	⑨ 2025年度 見通し	差異 ⑦-⑨
	704億円	+39億円
	114億円	△3億円
	40億円	△11億円

【参考】中期事業計画(2024年度～2028年度)

■ 旅客数(目標)

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2048年度
全 体	2,460万人	2,610万人	2,680万人	2,750万人	2,800万人	3,500万人
国内線	1,720万人	1,770万人	1,780万人	1,790万人	1,800万人	1,900万人
国際線	740万人	840万人	900万人	960万人	1,000万人	1,600万人

■ 財務指標(目標)

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
営業収益	510億円	630億円	660億円	790億円	820億円
営業利益	8億円	70億円	80億円	130億円	140億円
当期純利益	△70億円	△10億円	3億円	40億円	50億円